

令和6年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	広島大学	タイプ	A
事 業 名	日・欧州の海洋経済安全保障と持続可能性を支える AI 次世代人材育成プログラム		
海外の相手大学	ベニス大学（イタリア）、グラーツ大学（オーストリア）、世界海事大学（スウェーデン）、バスク大学（スペイン）、ライプツィヒ大学（ドイツ）		

〔評価コメント〕

本プログラム計画は、欧州の複数大学との学際的な修士ジョイント・ディグリー・プログラム構築の実績をもとに、AI 及び海洋・海事分野の最先端研究・教育プログラムを行う欧州の大学とともに、AI 技術を活用したデータ分析や予測技術を通じた持続可能な海洋・海事の実現に貢献する「日・欧州の海洋経済安全保障と持続可能性を支える AI 次世代人材の育成」を目指す意欲的な取組である。

国際連携教育の質保証を確保する上でも重要なジョイント・ディグリー・プログラムである国際連携サステナビリティ学専攻を、既に人間科学分野においてグラーツ大学と、また、先進理工学分野においてライプツィヒ大学と共同で構築しており、本事業においては、その実績をもとに、ベニス大学や世界海事大学ともジョイント・ディグリー・プログラムを構築拡大する計画となっている。海外大学との単位互換に UCTS/ECTS の枠組みを基本として相互の単位認定を行い、事前に合意した学修計画に基づく履修と共通尺度を用いて、質保証に繋げる試みも評価できる。

また、研究ワークショップや修士学生の共同指導等を通じた研究者交流を推進するとともに、国際共同学位プログラムの企画・実施・運営を中心とした多国間教育モデルを目指す意欲的な取組となっている。

さらに、オンラインを利用した教育の国際化や質保証にも積極的であり、英語での単位取得可能な科目提供を含む JV-Campus の積極的な活用や、世界的な潮流となりつつあるマイクロレデンシャルとデジタル証明であるオープンバッジの導入などにも取り組んでいる。

また、留学生の増加、教員の国際公募導入による大学の国際性も着実に向上しており、大学の国際化戦略の一環としての本プログラム推進の実現性に対する期待も高い。

一方で、AI 次世代人材育成が本プログラムの中心となっているが、EU においては AI の開発や応用に対する法的規制も厳しいうえ、特に、国家安全保障とも密接な関係にある海洋・海事分野においては、法的な整備や対応も含めて、事業推進にあたっては、海外の相手大学とのより密接な連携が必須であることに配慮されたい。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。